

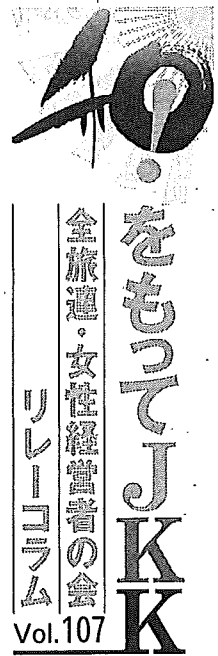


迫間 優子さん
三重県鳥羽市
鳥羽ビューホテル花真珠

新潟県の穴澤さんよりバトンをもらいました、三重県・鳥羽ビューホテル花真珠の迫間優子です。

海女と真珠のふるさと鳥羽は全国で一番多く海女がおり、国内に約2千人いる海女のうち、500人以上が鳥羽に住んでいます。鳥羽の地名については諸説ありますが、交易船や人が行き交う「泊浦」「泊り場」がなまったものといわれ

ています。戦国時代末には九鬼嘉隆が鳥羽城を築城し、鳥羽は江戸へと向かう交易船が風待ちのために立ち寄る港町として栄えました。また、豊かな自然環境と雄大な海の恩恵を受けて輝き「御食つ国」として栄えてきた町です。伊勢海老・鮎も有名ですが、サメの身をおろして塩やみりん醤油などにつけて天日干しにした「サメのタレ」は地元ならではの



やすく、働きやすさの向上につながるように努めました。その結果18年度は8名が入社いたしました。

の珍珠です。朝食にお出ししたり、おみやげにも大人気の鳥羽らしい逸品です。

困気は最悪な状態でした。正社員も派遣社員に嫌気がさし、派遣社員は正社員に不満タラタラで毎日会社に行くのが憂鬱でした。

女将への「提案」や「業務の改善要求」を気楽に提案できるようになっています。経営者とスタッフの距離が縮まり、社内全体の団結力や組織力強化につながったと思います。スタッフ全員が「常に考える」職場になりました。

今回は雇用に関して書きたいと思います。8年から新卒採用をスタートし、今年で10年目を迎えます。順調に2-3名程度を採用してまいりました。

なんとかして社員を増やそうと思いい、17年2月に3名採用し、4月入社が決まり労働環境も改善しました。接客係は、中抜勤務を廃止し通し勤務に変更しました。休日も数日前の発表でしたが、従業員の休日・休暇をとり

次は、京都府の太田さんにバトンを渡します。

しかし17年、病気・ケガ・退職などの理由から一気に人がいなくなりしました。半数以上が派遣社員で社内の雰

旅館甲子園出場するところが今の目標です。

「働き方改革で「考える」職場に

働き方改革で「考える」職場に